

富山市立小見公民館

(平成21年2月1日現在)

◆事業の目的

高齢者など世代間交流をしながら一緒に活動することで、今まで身近すぎて気づかなかった郷土の自然のよさ、大切さについて学び取ることができる。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月22日(木)～ 10月17日(金)	高齢者とふれあいさつまいも作り体験	小見小学校農園	37名
7月26日(土)	常願寺川(水辺の楽校)自然観察体験	水辺の楽校	16名
8月2日(土)	地元の泥を使った焼き物づくり体験	小見地区および小見地区コミュニティセンター	30名
2月1日(日)	三世代交流かまくら作り体験	小見地区コミュニティセンター駐車場	52名

◆事業の様子

☆ 高齢者とふれあいサツマイモ作り体験

5月22日、サツマイモの植え付け学習の日は天候に恵まれ、やまびこ農園にて異世代交流により多数参加のもと2時間余りの作業となりました。

高齢者の方々の指導により貴重な体験ができ、改めてサツマイモ作りの大切さと、感謝の気持ちを持ってたよい機会でした。

10月17日、サツマイモを植え付けてから5ヶ月余りになり、秋晴れの下、子どもたちは高齢者の方に掘り方を指導してもらいながら大切に芋掘りをしました。サツマイモの大きさ・形・重さ等を調査したあと、収穫したサツマイモを全員で楽しく試食し、食べ物大切さと収穫の喜び、感謝の心を改めて感じるよい機会となりました。



おいしいサツマイモができるといいな(苗植え)



おいしくできたね(サツマイモの収穫)

☆ 常願寺川(水辺の楽校)自然観察体験

小見小学校の前を流れる常願寺川の河原には、国土交通省が設置した水辺の楽校があります。

今日は、立山カルデラ砂防博物館の学芸員、PTAの副会長さんを講師に自然観察をしました。川周辺に生えている植物や川に住んでいる生き物を採取したり絵に描いて観察したりして学習



カジカはきれいな水が好きだよ(自然観察)

しました。普段、生活の場となっている常願寺川が素晴らしい自然の宝庫だとつくづく実感されました。機会があれば、また体験したいと子供たちも喜んでいました。

☆ 地元の泥を使った焼き物作り体験

焼き物は粘土からできることを学び、自分たちが住んでいる身近な場所にも粘土がたくさんあることを山を歩きながら知りました。子どもたちは、自分の家の近くにも焼き物にすることができる土があることを知り、とてもびっくりしていました。

採ってきた土と、市販の粘土を混ぜて焼き物用の土を作り、みんなで思い思いの模様をつけて湯飲み茶碗を作りました。焼き上げは先生に任せましたが、後日できあがった茶碗を見てとても不思議そうに、また、うれしそうに眺めていました。



うまくできるかな（茶碗作り）

☆ 三世代交流かまくら作り体験

小見地区コミュニティセンター駐車場において三世代交流（園児・児童、PTA・保護者、地区住民・公民館関係者）でかまくら作りを行いました。

始めに雪を集めて大きな固まりを作るためにバックホウを借りて形を作ります。参加者全員で大きいかまくら2個、雪だるまの中を掘ってローソクをともし小さいかまくらを20個あまりを作りました。

最後に出来上がったかまくらの上に登って記念撮影をしました。大きな仕事を協力してやり遂げた充実感を味わうことができました。



みんなで記念撮影（かまくらづくり）

◆事業の成果と課題

あらためて自然とふれあい、自然を観察し、自らの手で体験するなど、自然と真剣に向き合うことで、子どもも大人も毎日の生活で見過ごしている自然の多さにびっくりし、また感動を覚えさせられた。

自然に囲まれているからといって子どもたちはその自然を理解しているわけではないので、このような活動をもっと増やしていかなければならないと感じた。